

【時刻表】

高松港発▶小豆島池田港着	小豆島池田港発▶高松港着
6:50 ▶ 7:50	5:30 ▶ 6:30
8:32 ▶ 9:32	7:10 ▶ 8:10
9:30 ▶ 10:30	8:10 ▶ 9:10
11:10 ▶ 12:10	9:50 ▶ 10:50
12:10 ▶ 13:10	11:00 ▶ 12:00
14:10 ▶ 15:10	13:00 ▶ 14:00
14:48 ▶ 15:48	13:40 ▶ 14:40
16:47 ▶ 17:47	15:30 ▶ 16:30
17:40 ▶ 18:40	16:25 ▶ 17:25
19:30 ▶ 20:30	18:00 ▶ 19:00
20:30 ▶ 21:30	19:00 ▶ 20:00

◎悪天候やその他の理由により、時間や船が変更になる場合がございます。

【アクセス】



小豆島の真ん中、観光地に近い港

国際両備フェリー ～高松航路～

1日11便 約60分の船旅



香川県
高松港 ⇄ 小豆島
TAKAMATSU PORT ⇄ IKEDA PORT

国際両備フェリー株式会社



公式 HP



Instagram



YouTube

池田港からのレンタカー・
レンタサイクルはこちら！

お問い合わせ（自動応答サービス） 050-3615-6352

小豆島へ、癒しの旅へ。

瀬戸内海で二番目に大きな島、香川県小豆島は、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、オリーブや醤油、佃煮、素麺など、様々な食文化が育まれてきました。日本三大渓谷美の一つ「寒霞渓」をはじめ、天使の散歩道として知られる「エンジェルロード」など、島ならではの絶景スポットを各地で楽しめます。美しい瀬戸内海の島々や自然を堪能しながら、ゆったりとした時間で癒される船旅×島旅を過ごしてみませんか？

道の駅 小豆島オリーブ公園

園内では約2000本のオリーブ畑が広がっており、フォトジェニックなスポットも多い。地中海を思わせる美しい景色の中、ギリシャ風車がシンボルとなっています。



エンジェルロード

1日2回、干潮時に砂の道が現れ、向かいの島へ歩いて渡ることができます。大切な人と手をつないで渡ると願いが叶うと言われ恋人の聖地としても知られています。事前に潮見表をご確認ください。



寒霞渓（かんかけい）

日本三大渓谷美の一つに数えられ、山頂までのロープウェイで空中散歩をしながら200万年の歳月が創りだした日本屈指の渓谷美を楽しむことができます。



二十四の瞳映画村

映画『二十四の瞳』で使用されたロケセットを公開しています。大正から昭和初期の村の町並みが再現されており、ノスタルジックな気分を味わえます。教室内にも、当時のもののがそのまま残されています。



船舶紹介

しまぞう 第十一こくさい丸

2021年7月21日就航／総トン数:1,215トン／全長:73.05m／幅:15m

航海速力:15.0ノット／旅客定員:500名

車両積載:普通乗用車60台または大型バス12台

バリアフリーエレベーター完備

船内各所に可愛らしいぞうさんのデザインが施され、展望デッキには空に向かって高く鼻を上げたぞうさんをモチーフにしたマストやプランコ・メリーゴーランドがあり、小豆島までの船旅を家族みんなでお楽しみいただけます。



ぱんださん 第一こくさい丸

2007年7月1日就航／総トン数:696トン／全長:70.0m／幅:13.7m

航海速力:15.0ノット／旅客定員:500名

車両積載:普通乗用車55台または大型バス10台

バリアフリーエレベーター完備

落ち着いた雰囲気の船内には、ソファ席や絨毯の間なども完備。展望デッキにはぱんださんをモチーフにした可愛い煙突があり、遊具に乗って景色を楽しむこともできます。



船内売店のうどん



秘伝レシピの手作り出汁が絶品の讃岐うどん
営業時間はお問合せください。団体でのご利用時はご相談ください。



展望ラウンジ ホライズン

54名定員 貸切可能団体室

(貸切希望の方はお問合せください)



中山千枚田
(なかやませんまいだ)

「日本の棚田百選」の一つで、急な斜面に約800枚の大小の田んぼが折り重なっています。どこか懐かしい風景に心が癒されます。

西之瀧 (にしのたき)

「小豆島八十八ヶ所」の靈場のひとつで、小豆島最古の山岳靈場です。真言宗の開祖・弘法大師(空海)が修業や祈念を行った場所だといわれています。



重岩 (かさねいわ)

小瀬石鎗神社の御神体として祀られている、落ちそうなのに落ちない不思議な巨石です。長い階段や岩場を登り、辿り着く頂上には瀬戸内海の絶景が広がります。



醤の郷 (ひしおのさと)

醤油・佃煮工場が多く集まる地域で沿道には醤油の香りが漂います。今でも明治時代に建てられた一部の醤油蔵が使用されており、ノスタルジックな雰囲気が散策におすすめ。見学体験ができる場所もございます。

